



教育学研究院が北海道学習障害児・者親の会と連携協定を締結

概要：

NPO 法人北海道学習障害児・者親の会クローバーが取り組んでいる青年の就労支援事業等に関して、教育学研究院が取り組んできた現代日本における青年期の諸問題に関する分析・検討の成果を提供するとともに、親の会クローバーの先進的な取り組みについて実践的見地から調査し、その成果をより有効な青年期支援方法の開発に資するため、連携協定を締結することとなりました。

協定締結に至った経緯：

親の会クローバーは、1987年に学習障害のある子どもの親たちにより結成され、四半世紀にわたり我が子の教育・医療・福祉・労働等多方面にわたる問題に取り組んできました。2010年にはトヨタ財団の地域社会プログラムに「2020年を発達障害者の飛躍元年とするプロジェクト」と題して応募し、採択されました。これは、発達障害のある子どもとその親たちが幸せになれる社会を目指し、「家族支援」「自立支援」「就労支援」の3本柱を目標として、親たち自らが主体となって事業を展開していくとするものです。

他方、教育学研究院では従来から、現代日本における青年の諸問題、例えば早期離学、就労困難といった問題について様々な視点から調査を行い分析・検討してきました。親の会クローバーの取り組んでいる先進的プロジェクトは、教育学研究院にとっても実践的研究の場となるものであり、密接な連携のもとに協力し合うため協定を締結するに至ったものです。

連携・協力の内容：

親の会クローバーが取り組む家族支援、自立支援、就労支援に関して、教育学研究院は問題の所在、課題、取り組みなどについて意見交換を行い専門的見地から助言するとともに可能な支援を行います。教育学研究院は、この取り組みの過程について調査し、現代日本における青年期の諸課題におけるひとつの現れ方として分析・検討し研究成果としてまとめます。

協定の有効期限：

締結後2年間(更新可)

◆調印式ならびに協定締結記念ワークショップ（一般公開）

日 時：11月6日（火） 18時30分～20時30分

場 所：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W203

出席者：北海道大学大学院教育学研究院長，本研究院教職員，親の会クローバー会員，
その他関心のある方

【ワークショップ詳細】

「北海道学習障害児・者親の会クローバーと北海道大学教育学研究院・教育学院・教育学部の
連携・協力協定」締結記念ワークショップ

＜障害のある子どもの親と手を結ぶ—教育学が親のサポートに向かうとき＞

話題提供

NPO 法人北海道学習障害児・者親の会クローバー理事長・事務局長

ディスカッサント

北海道大学大学院教育学研究院	社会教育グループ	教授	宮崎隆志
	教育行政グループ	教授	横井敏郎
	教育臨床グループ	教授	間宮正幸
	産業教育グループ	准教授	上原慎一

司会

特殊教育グループ	教授	室橋春光
----------	----	------

お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学大学院教育学研究院 教授 室橋 春光（むろはし はるみつ）

TEL: 011-706-3105 FAX: 011-706-3105 E-mail: hm067@hokudai.ac.jp